

第2回知事メッセージ起草委員会 主な意見

○全体的な趣旨・構成について

- ・前年のメッセージからこの1年で何が変わったか、何ができたかというところを発表する場でもある。
- ・忘れてはいけないのは、これまでの支援への感謝。
- ・帰ってこなければまずいという雰囲気のトーンだけはあまり強く出したくない。当然帰ってきていただければ、良いに越したことはないけれども、帰れない人たちもいるし、そこを上手く読み込めるものを出せば。
- ・もう少し具体的な言葉や表現のほうが良い。
- ・引用しているメッセージに対して、福島県としてこうしたい、こうするみたいなものがあると、より引用文が引き立つ。
- ・もっと良い県をつくっていく、もっと良い何かをつくっていくというようなメッセージ、強い意志があると良い。
- ・今まで数値を出してきており、統計的に見ている人たちは期待していると思う。
- ・もうちょっと具体的なものを入れていけば良い
- ・知事の心の叫びが表れてくれば良い、こうしたいと。
- ・このメッセージは全国・世界に発信するものなので、今の福島県の姿を伝えなければならないという思いで書いていただきたい。
- ・人間としての知事の気持ちが私たちに伝わるメッセージが1番良い。
- ・切実な言葉であったり、こういうものを盛り込んでいくと、福島のことを好きなんだよというだけではなく、影の部分子どもたちも真剣に考えているよと見せながら、福島の大人はいろいろなことをやっていて、こうやって進んできたと見せられる。

○入れ込むべき内容について

- ・熱量を、これだけの短いところに詰め込むには、エピソードが大事であり、それに勝るものはない。やはり11年目を象徴するようなエピソードを探してきて文章を作ってみてはどうかと思う。
- ・この1年を少し振り返るようなものがあると良い。

- ・福島県はここまで復興して、このくらいの技術があつて、こうなっていますという現在の姿を入れたほうが良い。
- ・昨年活躍したオリンピックのメダリストも私たちの励みになっているというところを入れても良い。
- ・コロナの状況に経験知を活かすことはあるが、震災のことをもっと明確に伝えたいほうが良い。
- ・ストーリーというか、しっかりとした事例があつたほうが良い

○メッセージの発信について

- ・11年目というときのメッセージを、どういう立ち位置で、誰に向かって発信するのかというところを共有していけると良い。誰にメッセージを送り、何を伝えるのか。
- ・このメッセージは1人に向けて書けば良いと思う。そうすれば、他の人にも伝わる文章になる。

○メッセージの表現等について

- ・今まで、呼びかけの文章を作っていたと思うので、「踏み出していきます」は、踏み出していきましょう、としたほうが良いのではないかな。
- ・時をひとまとめにしたり、ここからがスタートという区切りを付けるのは、どうなのかな。